

解 答

- 一 問一 私が一家の内で大変幸福者であること
問二 ひげを理由に私の父を偉いと言ったり、平凡な人間だと遠回しに言ったりして笑う点。
問三 工
問四 貧しく苦しい生活の中で自分に愛情を注いでくれた家族に感謝する、なつかしい思い出。
問五 自分は前途有望な少年として家族に祝福されて小学校の門をくぐったに違いないが、当時自覚がなかったから。
- 二 問一 質問される相手の気持ちを理解しようとする想像力を持つこと。
問二 ① 五年生の時、学校で、背の高い男の先生が、クラスで一番背の低い男子生徒を「おい、チビ、チビ」と呼んだ。その子はうっすらと目に涙を浮かべ、唇をかんでいたが、先生の方はまったく気づいていなかった。
② 相手の外見について何かを言う場合、言われた相手の気持ちを想像することが大切であることがよくわかった。
問三 ① 余地 ② 半〔ば〕 ③ 責〔め〕 ④ 誠実